

平成26年4月開校

「学び」「育ち」の新しいスタイルがここにある



大阪市初！全市募集の施設一体型小中一貫校

むくのき学園

大阪市立啓発小学校
大阪市立中島中学校

むすぶくねんかんでのぞみをきずきあげる学園

「むくのき学園」がめざす教育

系統的なキャリア教育実践

個性の伸長

子どもたちの良いところを見いだし、のばしていく

課題の共有化

はぐくむ子ども像を9年間の連携（同じ目的を持った、つながり）で結ぶ

進む路の確かさ

一人一人の子どもたちの「学び」「育ち」を豊かにして、次のステージに導く

小中一貫校で夢を実現しよう

Stage 1 (1~4年生)

- ・基本的な生活習慣の確立（あいさつをする。早寝早起きをする。朝食をとる）
- ・学びの約束づくり（人の話をしっかり聞く。じっくり考え発表する。宿題をする）
- ・社会性の基盤づくり（きまりを守る。誰とでも仲良くする。整理整頓をする）
- ・元気でたくましく生活する（自ら進んで行動する。心とからだをきたえる）

Stage 2 (5~7年生)

- ・生活習慣の定着（時間を守る。計画的な生活をする。集団の一員としての自覚）
- ・学びの深化充実（授業に集中する。学び合い高め合う。家庭学習の習慣化を図る）
- ・心の教育（ルールやマナーを考える。違いを認め合う。思いやりの心をはぐくむ）
- ・健やかならだづくり（心身のバランスを保つ。積極的な体力向上の取組み）

Stage 3 (8~9年生)

- ・社会性と協調性を伸長させ、「社会人基礎力」を高める人間形成を築いていく。
- ・自分の良さへの気づきと、学びの質を向上させ「確かな学力」につなげていく。
- ・異年齢集団とのかかわりやキャリア教育をとおして、感性や情操を豊かにする。
- ・部活動や体育行事などをとおして、生涯にわたりスポーツに親しむ礎をつくる。

9年間の学びの一貫性や連続性を「強み」として、さらなるステージへつなげます。

グローバル化・情報化時代を生き抜くために

今求められる
「生き方」教育とは



キャリア教育

※文部科学省 国立教育政策研究所
「キャリア教育を創る」 参照

キャリア教育の必要性

人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きている。その中で、自分の役割を果たして活動すること、つまり、「働くこと」などを通して、社会の中で自分の役割を全うしながら、「自分らしい生き方」を探し、実現していく過程が『キャリア発達』である。

このような一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、『キャリア発達』を促し、これからの「生き方」を学ぶ教育が、現代のような変化の激しい時代に、最も重要な役割を担うことになる。

むくのき学園での「生き方」教育

つかむ

子ども理解のうえに立ち、
自尊心をはぐくむ実践的
教育を図ります

- ・発達段階に応じた課題を明確に捉え、教育計画を立案します
- ・「何をどのようにさせたいか」という数値目標を具体的に設定します
- ・各教科、領域での学習と「生き方」教育の関連性を検証します
- ・生活アンケートから、子ども「良いところ探し」を行います
- ・教育相談や進路相談を充実させ、個に応じた現実的探索を行います

つなぐ

「断片」をつなぎ、
9年間を通して体系的・
系統的な指導を行います

- ・9年間通したキャリアデザインを学年ごとにつなげていきます
- ・発達区分(Stage)での相互関連性や系統性を認識した教育活動を行います
- ・職業観・勤労観を高めるため、社会性や道徳心とのつながりを大切にします
- ・コミュニケーション能力や課題解決能力を高める学び合いの実践を行います
- ・9年後の「進む路」にあたる進路選択を確かなものにします

特色ある3つの取り組み



1 志学

—グローバル化・情報化時代に必要な学びを追求します

◇9年間で伸ばす英語力(小中学校英語教育重点校)

「フォニックス」(英語の綴りと発音を関連づけて、正しい読み方を習得する方法を取り入れた音声指導)の実践を行います。

- * 小学校1年生から、英語の授業を行います。
- * 小学校段階から希望者には英検受験、中学校では希望者に、英検やTOEFL等の受験に向けて補講などを実施します。



◇学び合う環境、能力や特性に応じた教育(ICT活用モデル校)

* 小学校3年生から、タブレット型PCを一人一台ずつ配布して、ICT(情報通信技術)教育を充実させます。

* モジュール学習(朝学習の時間など)にも、ICT環境を活用し、効率的な反復学習で基礎基本の定着を図ります。



◇教科専門性を活かした授業の充実(小中学校教諭の相互協力体制)

* 施設一体型の利点を活かし、中学校教員が小学校の授業を担当したり、学びの連続性が重要な教科では、小学校の教員が中学校の授業を担当します。

* とりわけ、早期に学習へのつまずきや、習熟度に差が生じやすい国語・算数・数学・英語などの教科では、小学校段階から協働授業や少人数授業を展開するなど、授業形態の創意工夫を図ります。



2共生

-「生き方」を見つめ、進むべき路を確かなものにします

◇体験学習を充実させた系統的なキャリア教育

* 小学校4年生からの新「生き方科」(「なりたい自分」に向けてどう生きるかについて考えていく学習)の構築をします。

◎「百家惊乱」(起業家教育)

⇒地域での職場体験をとおし社会性をはぐくみます。

* 中学校1年生からは、キャリアステージに応じて進む路を考えさせ、事業所見学・職業講話・職業体験・高校見学(調べ)・高校体験授業など、9年間で自己有用感・肯定感をはぐくみ、個性が伸長できる進路獲得をさせます。



◇共生社会の実現をめざした、人権・国際理解教育の推進

* 互いの違いを認め合う人権意識の高揚を図る教育や、国際社会を生き抜くうえで、大切な自他の尊重・道徳心を身につけさせます。

* ユネスコスクールへ登録(申請中)

自分たちの学校を世界に発信していきます。



3自りつ

-「自立」から「自律」へとつながる9年間にします

◇基本的生活習慣の確立のため、きめ細かな指導を展開

* 「食べて、動いて、よく寝よう」

⇒食育、体力向上、教育相談、生活指導、保健指導などを充実させ、規範意識の醸成を図ります。



◇9年間の縦割り集団ではぐくむ連続性・一貫性

* 小学校5年生からの部活動参加、児童会・生徒会の一体化、学校行事における異年齢集団とのかかわりで、憧れ感や誇りを抱かせます。



学校生活 (スクールライフ)



主な部活動…5年生から参加できます



バドミントン



野球



バスケットボール(男)



バスケットボール(女)



バレーボール(女)



卓球(男女)

など

主な年間行事予定



新しい
標準服



むくのき学園エンブレム

従来の啓発小学校と中島中学校の校章に使われていた「むくのき」の葉のイメージを残し、「K」は啓発小学校「N」は中島中学校を表しており、中央の『M』は「むくのき学園」の頭文字です。



アクセス



■大阪市立啓発小学校

所在地

大阪市東淀川

電話

06-6322-0120

F A X

06-6322-1394

http://swa.city-osaka.ed

■大阪市立中島中学校

所在地

大阪市東淀川区東中

電話

06-6322-0

F A X

06-6322-4

<http://cwsa-city.sakura.ad.jp/cwsa/index.php?sid=1653422>

●住所（町番）・電話番号は平成26年4月以降変わりますので、新しいパンフレットをご確認ください。